

平成29年11月13日
第4回国分寺市障害者施策推進協議会
資料3

平成29年度 障害者団体等ヒアリングの結果（まとめ②）

障害者団体等ヒアリング日程表		
実施日	団体名	団体等の表記
10月17日	障害者地域自立支援協議会(就労支援部会)	就労支援部会
10月25日	障害者地域自立支援協議会(精神保健福祉部会)	精神保健福祉部会

国分寺市 福祉保健部 障害福祉課

平成29年度 障害者団体等ヒアリングの結果（まとめ②）

項番	項目	地域課題に係る意見の概要	団体名
1	働くことへの支援	就労支援をして一般就労した後に、生活面も含めた総合的な支援体制が必要。	就労支援部会
2		特別支援学校の生徒の現場実習先が市内に無く、近隣市にお願いしている状況にある。福祉的就労の充実という部分で事業所の継続的な整備の必要がある。	就労支援部会
3		障害への理解のある会社なのかが重要。ただ企業に就職すればいいということだけでは、うまくいかなくなる人が多くなる。利用者が自分にあった場所で働き、それを見守っていける体制を整えることが大事。	就労支援部会
4	精神障害者の地域包括ケアシステムについて【保健・医療・福祉関係者による協議の場設置】	本人の高齢化、介護者（親）の高齢化の問題があり、地域包括支援センターに委員に入ってもらうのは良いと思う。	精神保健福祉部会
5		地域包括ケアシステムには教育も含まれる。教育分野の委員も必要ではないか。	精神保健福祉部会
6		協議の場で何を話し合うのかが不明確。今部会でやっていることも継続してやれるのならば、部会を協議の場としても良いと思う。	精神保健福祉部会
7		協議の場の人数があまり多すぎると話しにくい。今の部会は丁度良い人数。テーマに応じて必要なメンバーを増やす形でも良いのではないか。	精神保健福祉部会
8	地域移行・地域定着支援	入院中から作業所の体験するときに、期間が長引くと、事業所にお金が入らない。もう少し期限が長く、ゆるやかに利用可能なしくみがあるとよい。	精神保健福祉部会
9		退院に向けた気持ちづくりに、ショートステイや通所の長期間の体験利用が必要な場合があるが、回数制限がなく、事業所にきちんと報酬が入る仕組みができるとよい。	精神保健福祉部会
10		入院中の体験利用の場として都事業のグループホーム体験宿泊事業があるが、施設との相性もあるため、もっと色々なグループホームやショートステイの体験場所が使えると良い。	精神保健福祉部会
11		相談支援専門員が不足しており、地域移行まで手がまわらない。時々依頼が入るが受けきれない現状がある。	精神保健福祉部会
12		地域定着支援について、24時間対応が必要な対象者がどんな人なのか分かりにくく、また、現場の事業所にしっかりした職員体制がないと負担が大きく受けきれない。	精神保健福祉部会
13		地域移行は期間が限定されており、事業所としてどこまでやれるのか不安に思う。	精神保健福祉部会